

## 選考を終えて

申請いただいた皆様

この度はハウジングアンドコミュニティ財団の「第25回住まいとコミュニティづくり活動助成」への申請をいただき、ありがとうございました。申請いただいた書類からは、いずれの活動にも、地域のために未来のために、何とかしたいという切実な想いを感じとることができました。

しかし、現実的には全ての団体の皆様に助成できず、一般助成（地域・コミュニティ活動助成）10団体、テーマ助成（住まい活動助成）5団体を選考いたしました。そうした選考過程での議論を、今後の申請のご参考にさせていただきたく、ご紹介させていただければと思います。

一つは、地域との関わり合いです。

活動の初動期であれば、小さい取り組みから始めることは必須だと思いますが、その取り組みの内容が、地域の課題や資源に適したものになっているのかどうか。すでに次の段階であれば、今回の取り組みが、地域の方々に共感されているものなのかどうか。

さらに今後に向けて、地域の方々を巻き込んだ自立的な活動になっていくのかどうか。

また、上記とも関係しますが、活動内容の新規性についても重視しました。

地道に地域の日常生活を支える活動は非常に大切なものです。ただ、今回の活動助成においては、従来の活動に何を不足と考えており、どのように新たな対応をしようと取り組んでいるのか、という点に期待をしました。さらに、公益的な意義を深めるために、当該地域だけでなく、全国的な展開になり得るものかどうかも重要なことだと考えています。

もう一つは、予算の内容です。

場所や空間の整備費に偏っている場合には、整備をするプロセスに工夫を加えていच्छるのかも書類から判読できる限り読み込みました。

印刷物などの作成にあたっては作ることだけでなく、それを如何に地域で共有できるのか、が重要になってきます。

人件費に偏っていると助成がなくなったあとの持続性が懸念されます。専門家が地域にプロボノとして関わっていくあり方は大変重要だと考えておりますが、中でも他の研究助成では対応が難しそうなものを選考させていただきました。

皆様の貴重な活動が地域の方々の穏やかな日常を支えていच्छることに敬意を表しつつ、来年度もまたご応募いただければ大変ありがたく思います。

住まいとコミュニティづくり活動助成  
選考委員長 窪田亜矢